

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5 年 2 月 17 日

公表: 令和 5 年 2 月 24 日

事業所名 リッツエジソンスクール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		子どもの人数に合わせて人員配置をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設入口やトイレの段差を解消している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々のミーティングで話し合っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの意見を参考に、都度改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		2022年4月に事業所を立ち上げ、2023年2月よりホームページにて公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は外部による第三者評価は実施していない。今後、必要であれば検討する
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、内部研修共に多く機会を設け、自己研鑽と専門性の向上に努めている	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との面談内容と子どもの日々の様子を客観的に評価し、計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者から発達検査結果を提供して頂き、使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員MTにて立案、決定をしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節や行事、子どもの興味関心に合わせて、様々なプログラムを用意している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日に応じて課題や過ごし方を設定し、支援をしている	休日や長期休暇については、学校休だからこそ出来る活動も取り入れたプログラムを組んでいきたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		課題に合わせて個別、集団を組み合わせ、計画を作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、職員でその日の支援内容についてのMTを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に振り返りMTを行い、次の支援に繋げている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容の記録を必ず取り、振り返りがスムーズに行えるようにしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		最長で半年に一度、保護者へのモニタリングを実施し見直しを行う。また必要に応じて半年を待たずに行うこともある		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		ガイドライン内の活動を複数組み合わせ、支援を行っている		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		開催時には管理者、児童発達支援管理責任者を中心に出席する	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者を通して、学校行事や下校時間の情報を共有や、連絡調整を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な子ども、重症心身障がいのある子どもは現在、利用がない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		今後移行先や保護者の要望に応じて、情報提供を行っていく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		今後移行先や保護者の要望に応じて、情報提供を行っていく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		西宮市こども未来センターの研修に参加し、助言を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		参加の機会が得られていない。今後、参加の機会があれば積極的に参加をしたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加の機会が得られていない。今後、参加の機会があれば積極的に参加をしたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		インターネット上で写真と文章を用いて、療育内容を伝えている他、直接話をする機会を設けている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個々に子どもへの対応や関わり方について必要に応じて保護者の相談を受けている	今後、プログラムとして実施出来るように、職員のスキル取得を目指していきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個々に子どもへの対応や関わり方について必要に応じて保護者の相談を受けている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者からの要望も多いので、今後保護者会の開催を検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口を設け、契約時に保護者に伝えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログやインスタグラムを利用し、発信している	
	35	個人情報に十分注意している	○		施錠した書類庫にて保管している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的に分かりやすいツールや言葉を使い、ゆっくりと丁寧に説明をしている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染症防止の観点から現在は出来ていないが、今後情勢を見ながら検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	マニュアルを作成し、地震、火災、洪水、不審者、Jアラートの避難訓練を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	地震、火災、洪水、不審者、Jアラートの避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	外部研修、内部研修を職員が受講し、虐待防止に努めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	対象児童がいる場合は、組織的に決定し、個別支援計画に記載することとなっている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者を通して、医師の指示を確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハットが発生した場合は記録を取り、全職員で周知し、事故防止に努めている	